

平成28年3月発行
第248号

竜雲舞虹苑は
地域のみなさまの
心と心をつなぐ
虹の懸け橋でありたいと
願っています。

しゅんこうえん
りゅううん
竜雲舞虹苑



◆ 誌上法話 2	◆ 要望・苦情受付ます/トピックス 6
◆ 元気でやっとなる介?護 3	◆ 委員会活動紹介 7
◆ ショートステイでリフレッシュ 4	◆ 仏生山なら、よいトコなあ〜 8
◆ 事業所紹介/簡単料理 5	

※懐かしい仏生山本町通りの風景

仏生山なら、よいトコなあ〜

Vol.16



今回はいやしの空間 さ房「むらっぺ」をご紹介します。笑顔の素敵な「むらっぺ」の奥様、村川光代さんと仏生山町の民生委員をされておりますご主人の村川 順一郎さんにお話しをお聞きしました。



1月28日に8周年を迎えられたさ房「むらっぺ」は、息子さんが小学生の時、仏生山公園ができること知った息子さんが「ここでうどん屋をしようか？それが無理なら公園には子供がたくさん来るから駄菓子屋さんにして。」と言ったことがオープンするきっかけになったそうです。やがて子供たちも成長して今から8年前に「来てくれた人にくつろいでもらいたい。」とご夫婦の思いから息子さんのあだ名でもあった「むらっぺ」を店名にされたそうです。

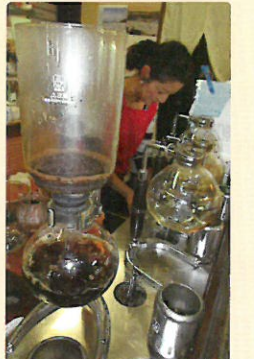
建設関係のお仕事をされているご主人が車椅子の人も来店できるようにバリアフリーのお店を設計し、お子さん達も手伝って家族皆の優しさが詰まった「むらっぺ」が完成したそうです。

お店の天井にはご主人が遊び心で作った蝶やトンボのイラストがかわいく印象的でした。店内はソファー席とテーブル席があり、ご主人の同級生から頂いたという色紙や絵がたくさん飾られ居心地の良い空間でした。



また、手作りの小物を販売されていたり、月に一度絵手紙教室をしたり、年に一度落語ライブも開催されているそうです。

お店の一番人気メニューは「焼きそば」で完売の日も多い人気だそうです。また、サイフォンでたてた自慢のコーヒーは一杯400円。タイムランチでは一杯200円で飲むことができます。



もう一つのおすすめは全国大会でも優勝したことがあるご主人の相撲甚句です。夕方お客さんからリクエストがあれば披露して頂ける…とか。



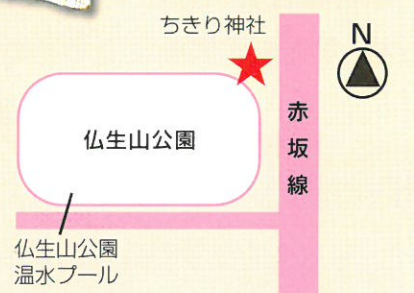
ケアハウスの利用者様も日々の散歩コースとして、さ房「むらっぺ」をご愛用されています。

今回「むらっぺ」を取材させて頂き、来店されているお客様お一人お一人に奥様が笑顔で話かける姿やご夫婦共通の思いでもある「来た人にくつろいでもらいたい」という優しい心遣いに私自身とても癒され、優しい気持ちになりました。

時間を忘れ、まるで家族といえるようなくつろげる空間、さ房「むらっぺ」にぜひ一度足を運んでみてはいかがでしょうか…？きっと元気になれますよ♡
(ライター 喜田 栄子)

【さ房 むらっぺ】

香川県高松市仏生山町甲2588 TEL 087-889-0825
■営業時間/7:30~16:00 ■定休日/毎週火曜日



委員会活動紹介

(竜雲学園)



特養副主任 松原 孝子

人財育成委員会の取り組み



竜雲学園では老人福祉・障害福祉分野の各事業所より代表者が集まり六つの委員会を発足し各種活動を行っています。その中の一つである人財育成委員会の活動の中心は法人全体の職員を対象とした研修です。4月1日の入社式は委員会が担当しています。5月22日には「新規採用職員研修」を実施しました。今年度は竜雲学園創立50周年の記念の年でもあり職員が一堂に会し、外部より講師をお招きしての記念講演・全体研修を実施しました。さて今回は2月19日に開催した「法人事例報告会」を紹介したいと思います。

竜雲学園では現在パート・正規を合わせると200名を超える職員が働いています。同じ法人にいても他事業所の取り組みを知らないという課題の解消、日々行っている支援や介護を客観的に見つめ職員の意識やサービスの向上に繋げる為に、平成23年度より事例報告会を計画し今年で5回目を迎えました。

今年度は、舜虹苑の在宅部門・香川県地域生活定着支援センター・障害者支援施設の竜雲あけぼの学園の三施設が発表をしました。

舜虹苑はケアハウス竜雲の職員が、ケアハウスの基本理念である「安心・安全・気持ちの良い生活」ができるように日頃どのように支援をしているのかをY様の事例を通して発表しました。

事例報告会に参加することで、事業所は違っても同じ法人の取り組みを知ることができ、日頃の支援・介護を客観的に見つめることで意識の向上に繋がったことと思います。

今後、人財育成委員会の活動を通して職員一人一人が竜雲学園の基本理念である「生活を共感し、共に生きてゆく」に沿った支援を行ない、竜雲学園の伝統を守ろうと意識を高め、技術を磨いていけるような研修を企画していきたいと思っています。

生活を感じ、共に生きてゆく



北条仏教会行事「寒修行托鉢」のご紹介

私が任職を勤めさせて頂いています法然寺は、十一年前まで北条市、平成の大合併で現在は松山市北条という地名に位置します。

その旧北条市時代に組織されていた北条仏教会が今でも存続しています。

日本全国各地には仏教寺院が宗派を超えて組織される「仏教会」があり、花まつりの祭典を行ったり、佛教講演会を開催したりと地域によってその活動内容は様々ですが、宗派を超えて何がしかの行事が行われています。読者の皆様のお住まいの地域にも仏教会があると思います。

現代に限らず、人口等の問題で市町村の自治体は合併を繰り返してきました。最近では平成の大合併が記憶に新しいところですが、自治体が合併すれば同じくその地域の仏教会も合併を行い組織の改編してきたところがほとんどではないかと思っています。

ところが、私が在住しています旧北条市、現在松山市北条地域の仏教会は、平成十七年の自治体合併にも拘らず旧北条市のままの「北条仏教会」として活動をしています。これには大きな理由があります。

現在、北条仏教会に所属する寺院は十七ヶ寺あり、宗派は真言宗、曹洞宗、臨済宗、黄檗宗、浄土真宗、そして浄土宗で構成されています。

北条仏教会の主な年間行事は、冬季に行う托鉢行と秋季に開催する講演会です。その托鉢行は、今から百十四年前の明治三十五年、東北で大飢饉が発生し、その支援のために北条仏教会が托鉢を行い、そこで預かった浄財を東北へ贈ったことが始まりで、現在でも「寒修行托鉢」として行われています。一月末の大寒の日を初日として約二週間、北条仏教会所属寺院より任職・副任職が参加し、旧北条市地区世帯約一万世帯

一戸ずつ玄関先で願文を称え浄財をお預かりして回ります。

旧北条市地区世帯の大通りに面したお宅から、人が一人通れるくらい細い路地のお宅に至るまで一戸ずつ回るものです。から、やはり地元の地理に詳しい和尚でなければ務まりません。百年も続いている仏教行事、地域住民の方も大寒が近くなると托鉢に近所の和尚が参るといいうのもご承知で、回つて来る日の朝玄関先で待つてくださる方も居られるくらい浸透した行事となっています。

仮に市町村合併で仏教会も合併し旧北条市以外からの和尚さんが来て、地理も解らず托鉢に回り、細い路地に気付かず、折角玄関先で待つて下さっているお宅に行けなかつたら、百年続いた伝統も台無しになる。そんなことから、あえて仏教会は合併せずに独自に活動をしている理由がそこにあります。

現在、その集まった浄財は旧北条市地域の各社会福祉協議会に寄付し、また前年に自然災害に被災した自治体などに支援金としてお送りしています。五年前起きた東日本大震災の被災地へ支援金をお送りした時は、約百年前に先達がされた事を再び我々が行うとは、と仏教会員一同遺る瀬無い思いのお送りさせて頂きました。

この宗派を超えた仏教会が行う托鉢行が百年以上も続いているのは、全国的にも珍しいそうですが、一戸一戸大事に玄関先に立たせて頂き、北条仏教会の伝統行事を後世に伝えていきたいと思っています。

愛媛県松山市北条

法然寺

任職

岡本 好司

介護に学ぶ1016号

元気で やっとする介? 護

今回は、仏生山町の喜田露子様を紹介いたします。喜田様がご主人を介護されていた頃からのご縁で、現在は、舜虹苑のデイサービスとヘルパーを利用いただいています。

とにかくおはなし上手で会話が途切れる事なく、次々に言葉があふれてきます。訪問の度にたくさんお話を聞かせていただいています。こちらの都合で、話の途中で退出させていただく事が多く申し訳なく思っています。

一人暮らしなので、たまに誰とも話をしない日もあるそうですが、そんな日はテレビの中の歌手と一緒に大きな声で歌い、気晴らしをしているそうです。一人暮らしの中でも自分でできる事や楽しめる事を見つけ、前向きに過ごそうとされるご本人の努力と、ご家族の皆さんが気にかけて支援してくださる事で、一人でも寂しいと感じた事がないそうです。益々お元気に過ごしていただけるように、介護スタッフ一同、協力していきたく思います。



介護支援専門員 小山 登志美

「元気のひけつは おしゃべり?」

母93歳、私(長男)66歳、老々介護をデイサービスで助けてもらっています。元来、カゼ一つひかず元気な母で、私共と少し離れた家で一人暮らしをしていましたが、昨年1月に転んだ時、足の痛みが取れず、舜虹苑のケアマネジャーさんに相談すると、大きな病院で診てもらったというアドバイスで受診してみました。なんと骨折しているとの事でした。即入院、腰骨に金属のプレートを入れてボルトで止める手術、歩けるようにリハビリ、そして、退院時には、介護認定を受けました。退院までに、自宅の手すりの設置、敷居のスロープ等のリフォームを終えました。

4月から、元の自宅での自立生活ができる事を基本に、ケアマネジャーさんにプランを立てていただきました。まず、週3回デイサービスに行き、入浴はデイサービスのみで済ませています。風呂場でころんだりしても、目が届かないので、手助けもできないためです。次に、週1回の部屋の掃除をお願いしています。おかげで以前より、サッパリとした部屋になりました。私自身も行くたびに、足元に物がちらばらないように、片づけ(不用品を捨てる事)をしています。本人は昔人間なので何でもため込む癖があります。

元々料理は自分でし、近くのお年寄りの一人暮らしの方には、お配りしたりしていた程でした。本人は必要ないと言うが、ガスの煮炊きも危険だし、色々な食材が食べられるため、弁当の宅配を週に何回か利用しています。時々、マルナカに買物につれていくと、知り合いを見つけては、ベチャクチャとおしゃべりが弾み、近所の人からも、以前より元気そうになったと言われている程です。人と話をすることで、ボケ防止になると言っています。

デイサービスの無い日は、車で遠出すると喜ぶのですが、孫の子守も時々あり、なかなか親孝行ができていません。健康診断では、特別悪い所無く、私自身も90過ぎまで健康でいたいなど、うらやましく思っています。

(長男 喜田啓一)



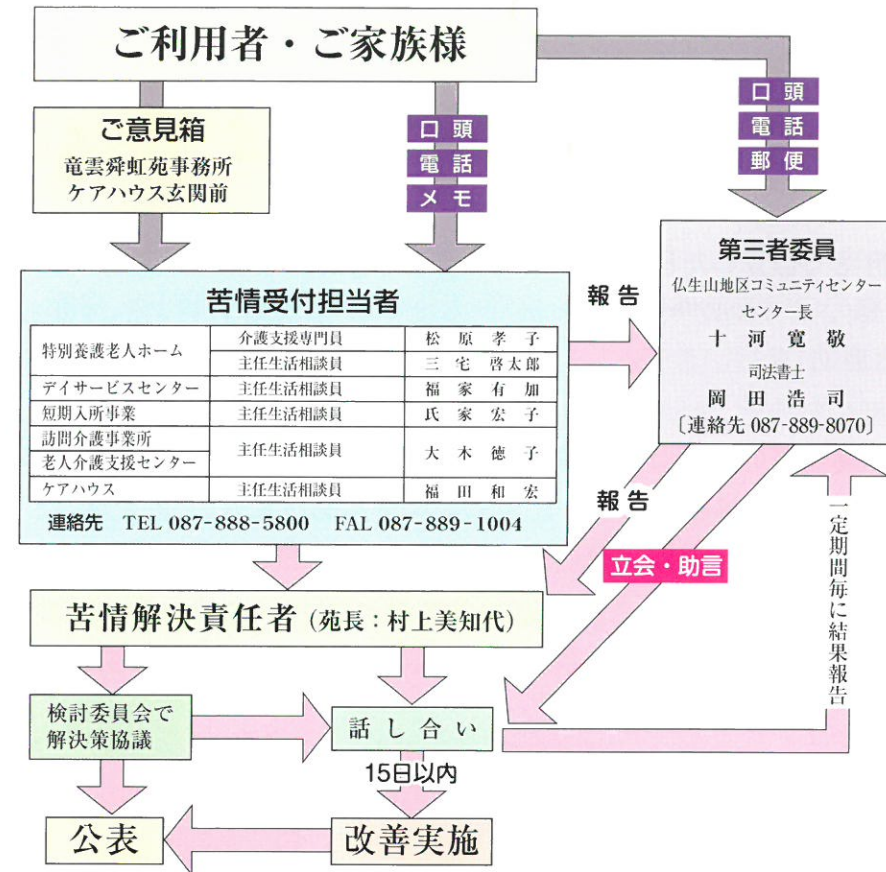
卒寿の祝い、家族とともに



桂浜へ行った時の写真

要望・苦情受け付けます

平成二十七年(九月〜二月)にお寄せいただいた「要望・苦情」についてご報告致します。
 苦情は一件、要望は0件でした。(第三者委員の関与は無し)
 内容は：職員の対応について一件(支援センター一件)
 これらの苦情につきまして真摯に受け止め、サービス改善の貴重なご意見として対応させて頂きました。



(平成27年9月1日〜平成28年2月29日)
 ご厚志
 ありがとうございます

●寄付

- 岡坂アヤ子様 親族黒川様
- 船川ミサエ様 ご家族様
- 久山 勝義様
- 田井 明徳様 ご家族様
- 岩部ミサ子様 ご家族様
- 池浦 迪子様 ご家族様
- 横井 實様 ご家族様 南木様
- 山田 春男様
- 高砂 勇様 ご家族様
- 藤田 弘様
- 山本 喬子様
- 上早 満雄様 ご家族様
- 白井喜美恵様 ご家族様
- 後藤登美子様
- 福家 清水様 ご家族様
- 修理 伸一様
- 谷本 沙織様
- 宮武 眞澄様
- 上野三千子様 ご家族様
- 香川大学教育学部附属高松中学校様
- 公益社団法人 あゆみの箱様
- 有限会社 久間薬局様
- 医療法人社団 修美会 すすもす様
- 竜雲メンタルクリニック様
- 株式会社 トーカイ様
- 後藤設備工業株式会社様
- 四国地区 青森リングの会様
- 高松アジアリテイアークラブ様

●ボランティア

- 仏生山婦人会
- Fitz美谷室
- 村上 香様
- 吉岡あぐり様
- 天野 恵美様
- 常包 博子様
- 山田 治江様
- 藤本 京子様
- 飛多 昭代様
- 高木 邦子様
- 中井 裕子様

●慰問・体験学習等

- スマイルドッグ様
- ボラえもん様
- さぬき民俗芸能保存会様
- 夢若会様
- くにとろ幼稚園様
- 仏生山小学校5年生様
- カナン保育園様
- 龍雲中学校2年生様
- 香川大学教育学部附属高松中学校2年生様
- ステツクラブ様
- 神宮寺獅子舞様



地域交流ホール利用のご案内

地域交流ホールを皆様にご利用いただけます。自治会、子供会、会議、クラブ活動等、地域活動で会場にお困りの際は、下記までご連絡下さい。

- 担当：三宅 TEL.087-888-5800
- 費用：無料
- 利用時間：9:00~20:30



ケアハウス入居者受付中!

ケアハウス竜雲は随時入居者を受付しております。見学、ご相談等ございましたらお気軽にご連絡下さい。

- 担当：福田 TEL.087-888-5800



地域の福祉、みんなで参加。



共同募金受配施設

社会福祉法人竜雲学園
 竜雲舜虹苑

- 特別養護老人ホーム
 - ショートステイサービス
 - ホームヘルプサービス
 - デイサービス
 - 老人介護支援センター
 - ケアハウス竜雲
- 〒761-8078 香川県高松市仏生山町甲3100-2
 TEL 087-888-5800 FAX 087-889-1004

事業所紹介『訪問介護事業所竜雲舜虹苑』



大木 徳子

訪問介護は、利用者様が可能な限り自宅で自立した日常生活を送ることが出来るよう、訪問介護員(ホームヘルパー)が利用者様の自宅を訪問し、食事・排泄・入浴などの『**身体介護**』や、掃除・洗濯・買物・調理などの生活の支援『**生活援助**』を行います。

訪問介護は・・・との説明をご利用様に行うと、たいていの方が、「1日来てくれるのではないの?」「たった1時間?」などと言われますが、介護保険の訪問介護は家政婦やお手伝いさんとは違い、利用者様の必要とする箇所をお世話することであり、例外となるサービスもたくさんあります。たとえば、ご家族の方のための家事や来客の対応、草むしりやペットの世話、大掃除、窓ふきも対象となりません。

訪問介護員(ホームヘルパー)は**介護のプロ**です。訪問介護事業所竜雲舜虹苑も介護福祉士の国家資格を有する職員を多く配置しており、ご利用者様の自立支援、介護方法の提案など**専門的な視野から介護を提供**出来ます。

今後も、専門職として他の職種とも連携し、協力して利用者様の在宅生活を支援していきます。



お困りのことがありましたら、お気軽に声をかけて下さいね!



簡単料理



管理栄養士 原田 歩美子

厳しい寒さが続く中、皆さんはどうお過ごしでしょうか? 私といえば、この前噂に聞く「ぎゅうぎゅう焼き」に挑戦してみました。作り方は、いたってシンプルで、切った食材をとにかくぎゅうぎゅうに詰めて、オリーブ油と塩コショウをたっぷりふりかけ、160~180℃のオーブンで約30分焼くだけです。ベーコンやソーセージを入れると旨みが出て、さらに美味しくなります。熱が通りにくい芋類は、先にさつとゆでておくのがコツ。

赤パプリカやトマトなどを入れると見た目も鮮やかになり、そのまま食卓にドン!と出せます。

旬の食材を入れるもよし、余った食材を利用するのもよし、便利な「ぎゅうぎゅう焼き」。寒くて台所に立つのもつらいこの時期、ぜひお試しください。



ショートステイでリフレッシュ



ショートステイ 中村 裕美子

皆さんは毎日笑って過ごしていますか? 最近では、パソコン・携帯といったもので、相手の顔を見て会話をせず、メールでコミュニケーションが終わっていませんか? 私は竜雲学園に就職して14年が過ぎようとしています。人と関わる介護という仕事を続け、毎日笑って過ごせる事を本当に幸せだと感じています。

私たち職員は、利用者様から「いつもありがとな。若いあなた達からパワーをもらっとるけん、毎日元気にすごせとるんよ。」と言って下さる事がありますが、本当は、私たち職員が利用者様の笑顔からパワーを頂き、楽しく仕事をすることができています。

私が担当しているショートステイでは、毎朝「おはよう! また今日からよろしくね。」と笑顔で利用者様が入苑されます。そして、入苑するとすぐに「この間うちの息子がな...」「孫が県外から帰ってきての...。」と、日当たりのよいソファに座り、井戸端会議が始まります。こういった利用者様同士の関わりや、職員との関わりの時間を大切にしています。

また、ショートステイでは、**入苑した時よりもお元気になる退苑して頂く事を目標**に一日でも長く在宅での生活を送って頂けるように、生活リズムを整え、活動量を上げられるよう、特養と同様に基本ケア(食事・水分・歩行・排泄)に重点を置きケアをさせて頂いています。

食事では、イベント食といって月に1回、その時期の旬な食材を使って昼食の一品を皆さんに作って頂いています。コロッケ・豚汁・打ち込みうどんなど、いざ料理をはじめると慣れた手つきで包丁を持ち野菜を切り、味付けは、計量スプーンなど使用せず、長年の感で味付けをして下さいます。「隠し味は、一つまみの砂糖。これが美味しい秘訣」などと会話しながら手作りする食事は食欲増進にもつながり、食事中も会話が弾み、笑顔が多くみられています。

こういった**生活上のリハビリと体力・筋力を維持できるようにリハビリ機器を使用した運動にも積極的に取り組んでいます**。平行棒・歩行器を使用しての歩行練習。ペダル式トレーナーを使用し下肢筋力低下の予防。滑車を使用し上肢筋力低下の予防ができるように、**その方にあったリハビリプランを立てて実施**しています。その他にも音楽に合わせて行うリハビリ体操や、食事の前に行う口腔体操なども、声を掛け合いながら行い、リハビリも楽しい時間となっています。

美味しく食べて、しっかり運動して元気になるって自宅に帰って頂けるように、身も心もショートステイでリフレッシュ! これからも毎日笑って過ごしましょう!

